

Soul

声

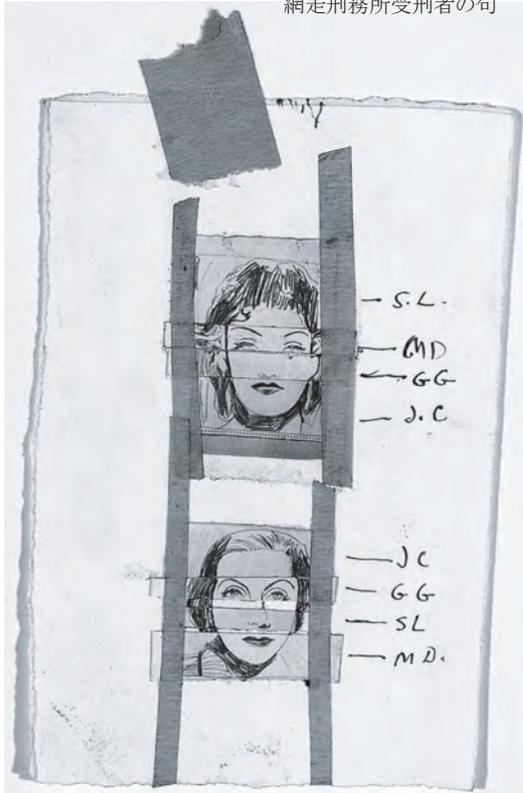
誰かにふいに声をかけられたような気がして振り向くと、春が帰って来ていた。「お帰りなさい・・・」と、返事をした。春という季節は、いろいろなものが音を立てて帰ってくる。虫や、球根や、青い葉をつけた木々や、花びらを落とした固い実や、何もかもが忙しそうに自分の仕事に励んでいる。何といっても、渡り鳥たちの仕事が一番の大仕事だ。長い旅を終え、これからの落ち着き先を決めたつばめ達が、枯れ葉や、土くれをこねて、大急ぎで作りあげた引っ越し場所にもぐり込んで、これからの数ヶ月を過ごす計画を着々と進めている。

春には、あらゆるものに自分の命があり、そしてそこから這い出すまた別の幾多の命をはぐくんでいる。今ここにあって、手に触れ、耳に聞こえ、眼に映る全てのもの以上の命が、この世界にあるという事を、時には疲れきって絶望し、あきらめ、あてもなく歩き、さまよい続けた流転の果てだとしても、そこにまた始まる世界があるということ、信じてもいいと、鳥達が伝えてくれている。まるで渡り鳥のように、まるで繰り返し実をつける木々のように、この世界には始まりも終わりもなく、全てのものに行き先があるように、全てのものに帰るところがあるのだよと、春が、帰って来てくれている。

暑い夏も、もうすぐやってくる・・・

春の星 流転の果ての静かなる

網走刑務所受刑者の句



COLUMN

鎌倉の猫事情 第六十七話

冷たい診察台の上で鎮静剤を打たれて横たわるグーニーは、手負いの獣のようでした。先生は、カルテとレントゲン写真を手に診断の結果を話されました。グーニーの口の中は傷口がふさがらず、それは、どうしようもないということ、レントゲンには異常は見られないけれど、血液検査の結果では、肝臓がかなり弱っていて、猫エイズは完全に陽性、猫白血病も擬陽性を示しているということ。今の主治医の先生の治療は、その進行を抑えているけれど、いずれその間隔は短くなり、インターフェロンを投与するようになって行くだろうということ。いずれにしても、より短い間隔で注射をしなくてはならなくなるということ。そして、「今日はかなり衰弱していたので、栄養と水分の補給、それに今までの注射と同じものを打っておきました。鎮静剤でもうろうとしていますから、少し意識が戻ったら家に連れて帰って下さい」・・・という内容のものでした。その後私は待合室でグーニーが出てくるのをぼんやりと待ちました。しばらくすると、ゲージに納められたグーニーが助手の方に連れて来られました。グーニーは少し意識を取り戻したようで、うつろな目を開けて、辺りをさぐるような様子をみせましたが、またあきらめたように目を閉じました。さっき診察室で猛然と反抗したような気力は失くしていました。私はゲージに囚われたグーニーを車に乗せ家路につきました。その道のりの間、先生から告げられた先程の宣告を頭の中で繰り返していました。疑いようもない事実が告げられたのです。インターフェロン・・・聞いたことのある薬です。副作用の強い劇薬です。グーニーの病状は最終段階へと向かっていたのでした。主治医の先生が、「別の薬を打たなければならなくなる」と言われていたのは、これだったのでしょ。主治医の先生はいつも黙ってグーニーの治療をして下さっていましたが、今日のこの診断を告げたくはなかったのだという事に、この結論を、まだ出したくなかったのだという事に、やっと気付きました。でも、もう逃げる所はない・・・箱の中のグーニーは、まだぐったりとしてうめき声もあげません。私はその帰り道の車の中でようやく覚悟を決めました。いつまで続くか分からないけれど、グーニーのこの状態がこれから先どうなっていくにせよ、一日でも長く一日でも多くグーニーが苦しまなくて良い日を過ごさせてやろうと。もう一年近くも苦しんできたグーニーが可哀そうでした。でももう、どうして、なんで、こんな事に・・・？ という問いはやめようと思いました。これから起こる事で、どんな日々になろうと、私が出来る限り守ってやろう。何が起きてもグーニーのそばに居て、見守ってあげようと、心に決めたのです。



—to be continued

Information

鎌倉の猫事情をご愛読頂く皆様へ

グーニー君の病気の顛末を連載し始めてから、たくさんのお客様から、ご心配、ご同情を頂いており、大変感謝し、また恐縮しています。このお話は、この後また大変な事件が起き、その後二転三転して行きますが、今現在は、グーニーは愛妻スピーーと共に、無事安楽な日々を過ごしています事、ご報告申し上げます。これからは、今もって思い出しでも不思議な展開となっていきます。もうしばらくの間、グーニー君の辛い日々が続きますが、どうかご辛抱頂いて、今後の展開をお待ち下さい。お楽しみに・・・





Bar Time

WHISKY シングルモルトウイスキー



シングルモルトとは・・・
モルトウイスキーの中でも単一の蒸留所の
モルトウイスキーのみを使ったウイスキーです。
蒸留所の風土・気候、製法が異なることで、
様々な個性の原酒が誕生します。
蒸留所ごとの風土や作り手の特色を色濃く
反映されたプレミアムウイスキーが
シングルモルトです。

Milk Hall Menu

SPEYSIDE MALT スペイサイドモルト

スペイサイドとはスペイ川流域のこと。水に恵まれるこの土地はスコッチ作りに最適。スコットランド全土に100以上あるスコッチの蒸留所の約半分近くがこのスペイサイドに集結している。「グレン」という名前が多いのは、この地に多くのグレン(ゲール語で谷)があるから。もとは密造酒のメッカであり、ハイランドの落武者たちが追手を逃れてこのスペイサイドで細々と農業を営みながらつくったのがスペイサイドモルトの原点。

★SPEYSIDE MALT THE GLENLIVET 12years

スペイサイドモルト グレンリベット 12年 700 yen

エレガントな香り、深みと切れ味の、バランスの取れた味わいです。

HIGHLAND MALT ハイランドモルト

ハイランドはロッホが多い。ロッホとはゲール語で『湖沼』。有名な『ネス湖』もこのハイランドにある。この地方では高木は育たず、岩山とシダ類に覆われて荒涼としている。

“ハイランドウイスキー”として特徴はあまりないが一つ一つが味わい深い。

★HIGHLAND MALT GLENMORANGIE

ハイランドモルト グレンモーレンジ
ポートウッドフィニッシュ 1200 yen

ポートワインの樽を使って仕上げた軽やかな甘い香りが特徴です。

ISLAY MALT アイラモルト

全島が厚いピート層に被われたアイラ島はスコッチウイスキーの島。波しぶきと潮風を浴びながら熟成され、スコットランド本土で取れるのとは全く違うアイラピートによって作られるアイラ・モルトは、「潮の香り」がする強烈な個性を持ったスコッチ。独特のヨード臭とスモーキーさは他にはなく、アイラモルトだけの特徴である。クセが強い分、初めての人は苦手かもしれないが、慣れればやみつきになる。

★ISLAY MALT LAPHROAIG 15years

アイラモルト ラフロイグ 15年 1800 yen

強烈なピートの香り際立つ、アイラモルトの王者 “ラフロイグ”
「ラフロイグ」とは、ゲール語で「広い湾の美しい窪地」の意です。

LIVE 5/19

毎月第三土曜日の夜は
ハーフムーンのライブで、
MILK HALLのBAR TIMEを
お楽しみください

Sat. pm 7:30



HALF MOONの音楽は
愛と平和を歌います。

by HALF MOON

琢磨 仁 (Jin Takuma)
琢磨 啓子 (Keiko Takuma)

Information

ミルクホールタイムス定期購読募集

ミルクホールタイムスご愛読頂くお客様へ
ミルクホールタイムスは、毎月25日の定期刊行致しております。ミルクホールでは定期購読ご希望のお客様を募集しております。お申し込みの方へは、毎月25日に発送致します。メール、FAX、お葉書などでの申し込みをお待ちしております。

年間定期購読料 **¥1500**

ミルクホールタイムス総集編

「鎌倉ミルクホールタイムス」No.001 ~ No.100

ミルクホールにて販売中 **一部 ¥1800**

ミルクホールタイムス創刊号から100号まで全てを編集した、ミルクホールタイムス総集編を発行いたしました。人気連載中の『鎌倉の猫事情』が、第一話より前編終りまで掲載されています。HPからのお申し込みもお受けしています。

〒248-0006

PHONE 0467-22-1179

鎌倉市小町2-3-8

e-meil/ info @ milkhall.co.jp



ANTIQUES



**伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク**

ミルクホールでは
大正・昭和初期の日本のものを中心に、和洋
家具、アンティーク等、毎月入荷しています。
伊万里や、古代の発掘品など、
骨董ファンの方にも楽しんで頂ける
掘り出し物も揃えています。

♠ **和洋家具**

★★大正・昭和初期
家具・ケース 新入荷

- ★★昭和初期時計屋用デスク
- ★★大正飾り棚
- ★★昭和初期ガラス入り本箱
- ★昭和初期食卓椅子・籐椅子
- ★昭和30年代本立て各種
- ★★大正時代水屋箆笥二段
- ★★明治時代帳場箆笥
- ★昭和初期茶棚
- ★昭和初期鏡台
- ★文机・ちゃぶ台

♣ **古陶磁**

★★各種 新入荷

- ★★大正色絵各種新入荷
小皿・鉢・向付け
- ★★明治銅版小皿新入荷
文明開化絵皿など
- ★★古伊万里豆皿新入荷
- ★★古伊万里なます皿
- ★伊万里7寸皿各種
- ★瀬戸絵小皿
- ★伊万里そば猪口傷直し
- ★初期伊万里陶片
- ★縄文土器欠片



◆ **アンティーク**

★★大正・昭和初期
色ガラス 新入荷

- ★★昭和初期緑葉ビン各種入荷
- ★★明治・大正の色ガラス各種
- ★★昭和初期色ガラスショットグラス
- ★★昭和初期洗面器スタンド
- ★昔の楽しいケーキ型色々
- ★レプリカシェード ¥5800より

👉 珍品 **イギリス19世紀
ストーンウェア(瓦) ¥7800**



..... **和の小もの**

ミルクホールオリジナル 和の小もの
大正・昭和初期時代の絹の着物の布地を
素材に使った和の小もの色々です

✂ **半衿・帯揚げ**

★★各種半衿 新入荷

半衿は、着物のコーディネートのポイント
です。半衿を替えてみるだけで、一枚の着
物の雰囲気さがらりと変わります。
鹿の子絞りや、ちり緋、お召し、銘仙など、
昔の着物をほどいて半衿に仕立てました。
大正風にアレンジするなら銘仙など、
半衿で、自分流の着こなしをお試し下さい。

半襟 ¥800より 帯揚げ ¥800より

✂ **古布**

使い方色々、長尺ものから、小さな端布の
アラカルトまで、様々な素材、色々なサイズ
の布を揃えています。

値段の目安は1メートルで1000円ほどです。
希少価値のある柄物は、少し割高です。

端布組み合わせ ¥300より

★ **着物・アンティーク古着**

★★大正時代着物 新入荷

銘仙やお召しの大正・昭和初期の着物が入荷
しています。又、着易い紬や木綿など。

- | | | |
|-------------------|---------------------|-------------------------------|
| 人気の大島紬 ¥9800より | 久留米紬 銘仙着物 お召し | ¥7800より ¥3800より ¥4800より |
|-------------------|---------------------|-------------------------------|

つくり帯
半衿・帯揚げ
くるみボタン
かんざし

✂ **帯・つくり帯**

★★各種帯 新入荷

★★大正・昭和初期名古屋帯
★半幅各種

着物は、着るのが面倒なものです。
つくり帯を持っていると着物が身近に
なってきます。初心者の方にも、着物
に慣れた方にも、お気に入りのつくり
帯をお持ちになることをお勧めします。
またお買い上げの 帯もつくり帯に
お仕立て致します。

名古屋帯お仕立て ¥3000より
二重たいこお仕立て ¥4000より

✂ **かんざし**

- ★ミルクホール製花のかんざし
花のかんざし ¥2500より
- ★ミルクホール製木のかんざし
木のかんざし ¥1800より

HISTORY

KAMAKURA 場所の記憶 No.14

キリシタンの寺 光照寺

日本各地に、隠れキリシタンゆかりの場所があり、禁教令による迫害の爪跡を残しています。キリシタンの歴史は日本の歴史の中でも最も残酷なものの一つでしょう。10年ほど前、長崎地方の隠れキリシタンゆかりの地を訪ね歩いたことがありますが、その行く先々で不思議な体験をした事が、今も強い印象に残っています。そのキリシタン達の信仰と辛苦の証しであるクルスを掲げた寺が鎌倉にある事を、私は知りませんでした。光照寺は、鎌倉街道を北鎌倉駅から大船駅へ向かう、台山に折れる道の途中にあります。時宗遊行寺派の寺で通称「しゃくなげ寺」で知られています。三門は「クルス門」ともいわれ、隠れキリシタンの信仰の象徴であった十字架が、寺を示す卍(まんじ)の紋に潜んで刻まれています。本堂には阿弥陀如来を本尊とし、わきには東溪院にあった釈迦如来像を祀っています。また、1859(安政6)年に建立された本堂内部には、隠れキリシタンの燭台二基も保存されています。これらは、かつては近くにあった九州中川藩江戸屋敷の菩提寺東溪院の所有で、明治に入り廃仏毀釈によって東溪院が廃止され、現在の場所に移築されたものだそうです。もともとは九州から持って来られたのでしょうか?何かの縁で、この鎌倉にも、キリシタン達の記憶が残されているのです。